

20160724 「エルサレム会議」

目標：教会最初の教会会議での話し合いの内容を確認し、イエス様を信じたら自分もコルネリオのように救われることを知る。

聖句：「確かに、主イエスのめぐみによって、われわれは救われる」（使徒 15：11）

時間：10分

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：割礼をイメージすることは子供たちには難しく、またある一定年齢以下の子供は茶化して全体の流れを乱すもととなりうる。「良い行い」など言葉を置き換えて話を進めていく。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	パウロたちが伝道旅行から帰った後のことです。教会には、いろいろな人がいて、人はどうしたら救われるのだろうか、いろいろな意見がありました。どんな意見かと言いますと、イエス様を信じたら、良いことを何もしなくても救われるという意見と、イエス様を信じて、良いこともして、救われるんだという意見でした。		
課題探究	6分	みんなは、どう思いますか。 理由を聞いてみましょう。 エルサレム会議は、このように議論がすすんでいきました。	<ul style="list-style-type: none"> ・良いことは必要 ・良いことは必要ない 	<p>割礼と言う言葉はここで出しても構わないが、体に傷をつける行いで、彼らはそれを良いことと考えていたという程度で深入りしない。</p> <p>板書して対立軸の理解を助ける。 素直な子ほどこう考える傾向があると思われる。 教師の側で、善行はキリスト者に要求されることであることは押さえておくこと。くれぐれも、未信者ではない。 多様な意見が出ると思われる。いろいろ考えさせ、次の段階につなげていきたい。 エルサレム会議は、行為が必要との意見に対し、パウロらが、主イエスを信じる信仰で異邦人も救われたと報告し、それを(コルネリオの回心を踏まえて、)ペテロがパウロの意見に与し、 主の弟ヤコブがそれをまとめ、信徒の善行について特に意見を付けて、まとまったという流れである。</p>
まとめ	2分	パウロさんたちはこの結果を、先の伝道旅行でできた教会に伝えようと、再び出発していきます。私達が伝える福音は、どんな人でもイエス様を信じるならば、イエス様のめぐみで救われると言うことです。 それは、使徒たちが勝手に決めたのではなく、神様がどんな人でもイエス様を信じた人を救っていくので、それを認めさせられたのでした。 暗誦聖句		<p>185号のテーマからの反映。</p> <p>福音とは、良き知らせと言う意味だと言うことをふれると、理解の助けになると思う、。</p>